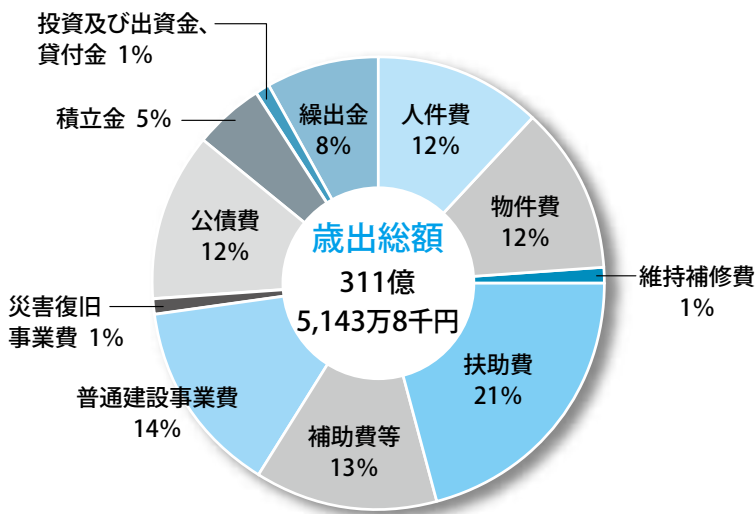
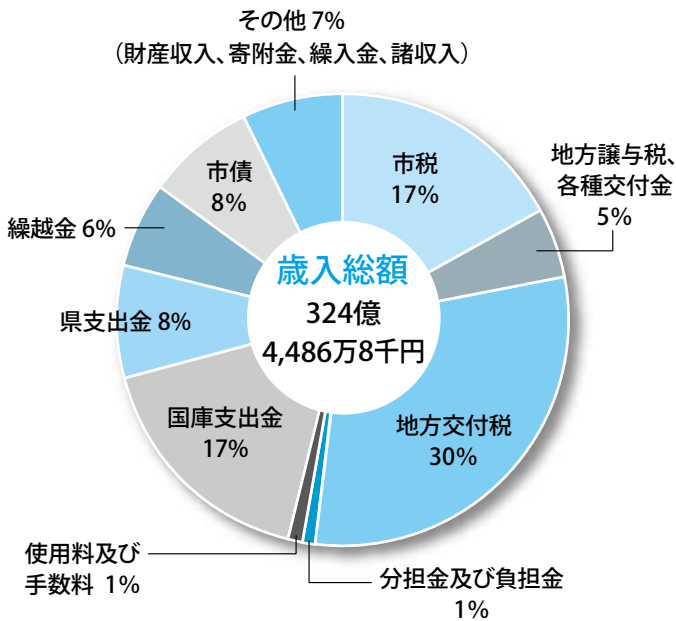


～令和4年度決算の状況～

一般会計



令和4年度一般会計決算額は、歳入総額 324 億 4,486 万 8 千円、歳出総額 311 億 5,143 万 8 千円、差し引き 12 億 9,343 万円の黒字となり、繰越事業の財源として翌年度に繰り越す財源 (1 億 1,323 万円) を控除した実質収支額は、11 億 8,020 万円となりました。



〔歳入〕 (単位：千円)

項目	決算額
市税	5,405,824
地方譲与税、各種交付金	1,651,700
地方交付税	9,570,911
分担金及び負担金	183,314
使用料及び手数料	314,930
国庫支出金	5,539,798
県支出金	2,686,269
財産収入	56,018
寄附金	216,115
繰入金	1,628,400
繰越金	1,991,300
諸収入	497,494
市債	2,702,795
合計	32,444,868

〔歳出 性質別〕 (単位：千円)

項目	決算額
人件費	3,676,162
物件費	3,726,316
維持補修費	242,455
扶助費	6,600,620
補助費等	3,995,331
普通建設事業費	4,284,867
災害復旧事業費	250,140
公債費	3,705,359
積立金	1,711,066
投資及び出資金	203,637
貸付金	72,174
繰出金	2,683,311
合計	31,151,438

〔歳出 目的別〕 (単位：千円)

項目	決算額
議会費	178,179
総務費	5,414,440
民生費	10,346,424
衛生費	3,370,485
労働費	3,193
農林水産業費	1,089,935
商工費	1,104,314
土木費	2,071,499
消防費	841,345
教育費	2,776,125
災害復旧費	250,140
公債費	3,705,359
合計	31,151,438

※決算統計上の区分(目的)の数値であり、決算書の区分(款)の数値とは異なります。

● 市民の皆さん 1 人当たりで見ると… (歳出目的別)

※人口44,023人(令和5年3月31日現在)で計算

議会費 4,047 円

議会の運営など



総務費 122,991 円

庁舎の管理、徴税、選挙など



民生費 235,023 円

高齢者福祉や障がい者福祉、生活保護、子育て支援など



衛生費 76,562 円

医療対策、病気の予防、ごみ処理など



農林水産業費 24,758 円

農業や林業、漁業の振興など



商工費 25,085 円

商業や工業、観光の振興、企業誘致など



土木費 47,055 円

道路や河川、公園、住宅の整備・管理など



消防費 19,111 円

消火活動、救急救命など



教育費 63,061 円

小中学校、公民館の運営、文化財の保護、生涯学習など



公債費 84,169 円

借金の返済



その他 5,755 円

雇用対策や災害など



◆ 市民 1 人当たりの歳入額 73万6,998円

うち市民税(個人) 43,256 円

うち固定資産税 60,388 円

◆ 市民 1 人当たりの歳出額 70万7,617円



令和 4 年度決算に係る財政指標は次のとおりです

健全化判断比率

◆ 実質赤字比率 <->

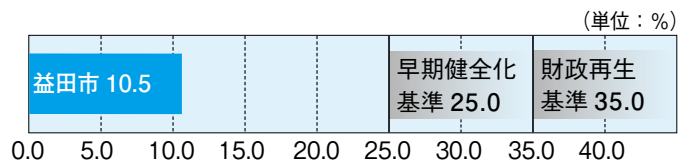
福祉、教育やまちづくり等を行う益田市の一般会計等の収支が、赤字か黒字かを見るための指標です。益田市は赤字でないため、算定比率は表示されません。

◆ 連結実質赤字比率 <->

一般会計、特別会計の全会計を合算した指標で、赤字か黒字かを判断します。益田市は赤字でないため、算定比率は表示されません。

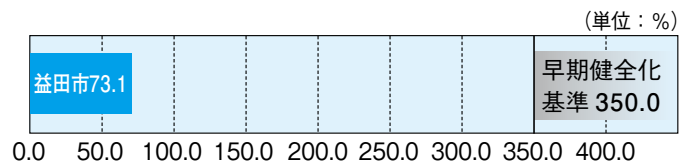
◆ 実質公債費比率 < 10.5% >

歳出の中で、過去に行なった借入金の返済額およびこれに準ずるものの大きさを見るための指標です。



◆ 将来負担比率 < 73.1% >

一般会計等が将来的に負担する必要があるもの(地方債の現在高や退職手当負担見込額、第三セクターに対する負担見込額等)が、後年度財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。



※健全化判断比率のうち、いずれか 1 つでも早期健全化基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定する必要があります。

資金不足比率

地方公共団体が設置する公営企業に係る特別会計ごとの資金不足額を算定し、公営企業の資金不足額を公営企業の料金収入等の規模で示される事業規模と比較して、経営状況の深刻度を示すものです。

※資金不足比率が経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画を策定する必要があります。

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	
土地区画整理事業特別会計	—	

《資金不足が生じていないため、比率は表示されません》

【問い合わせ先】 市財政課 ☎ 31-0604

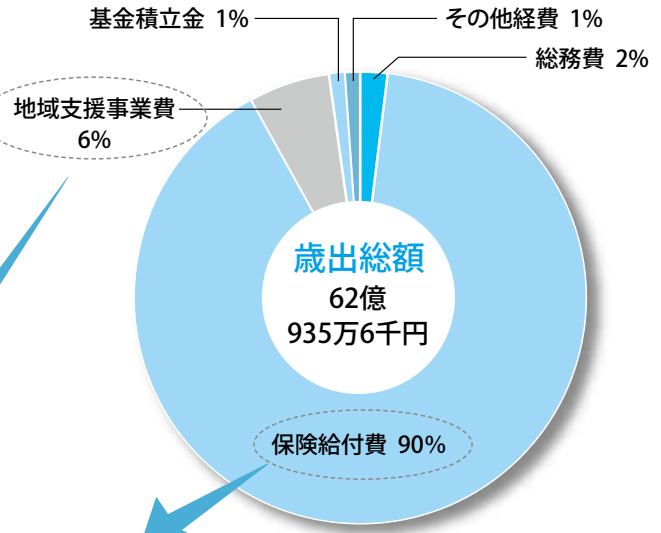
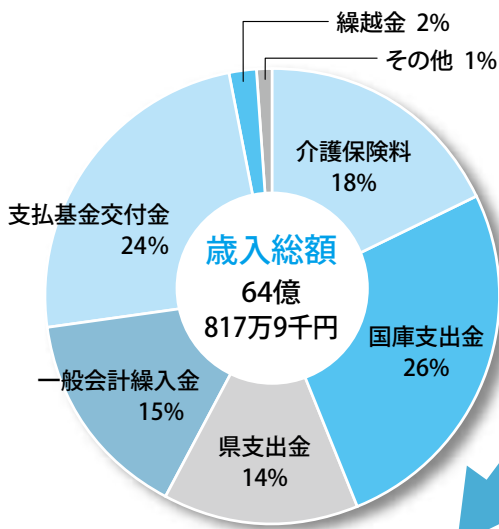
介護保険特別会計

介護保険特別会計の決算の状況は以下のとおりです。

歳入額 64億817万9千円
歳出額 62億935万6千円

歳入と歳出の差額 1億9,882万3千円 は令和5年度に繰り越しました。

これは交付金等の返還、基金の積立に充てます



(単位：千円)

(単位：千円)

項目	令和4年度	令和3年度
介護予防・生活支援サービス事業費	171,747	160,219
一般介護予防事業費	22,884	20,685
包括的支援事業費	197,968	174,570
総合相談事業費	111,017	111,861
権利擁護事業費	142	82
包括的マネジメント事業費	123	127
任意事業費	30,193	27,252
在宅医療・介護連携推進事業費	6,603	6,548
生活支援体制整備事業費	26,966	24,116
認知症総合支援事業費	22,924	4,584
高額介護予防サービス費相当事業等費	692	793
その他諸費	874	812

項目	令和4年度	令和3年度
居宅サービス費	1,918,840	1,941,292
地域密着型介護サービス費	1,290,729	1,283,570
施設サービス費	1,814,826	1,872,274
福祉用具購入費	8,607	8,356
住宅改修費	24,008	23,744
サービス計画費	224,425	218,064
高額サービス費	124,459	130,528
高額医療合算サービス費	19,384	19,382
特定入所者介護サービス費	141,720	169,535
審査支払手数料	6,491	6,405

★歳入（収入）

介護保険特別会計の主な歳入は、保険料、支払基金交付金、国・県の支出金、益田市一般会計からの繰入金などで占めています。介護サービスの給付を行うために必要な財源は、保険料や国・県・市の負担となります。また、介護保険事業に必要な事務費や人件費などの大部分は市の負担となります。

介護保険料：65歳以上の1号被保険者保険料のことです。

支払基金交付金：40歳から64歳までの2号被保険者保険料のことです。

【問い合わせ先】市高齢者福祉課 ☎ 31-0682

後期高齢者医療特別会計

歳入と歳出の差額 1,536万7千円は令和5年度に繰り越しました。これは後期高齢者医療広域連合保険料等納付金等の財源となります。

【問い合わせ先】

市保険課 ☎ 31-0215 FAX 24-0180

★歳出（支出）

保険給付費：要支援・要介護認定を受けてサービスを利用した時に、保険で負担する9割から7割のサービス費と、それらをサービス提供事業者などに支払うために必要な審査支払手数料のことです。

地域支援事業費：高齢者が「要支援・要介護状態」になることを予防し、また、住み慣れた地域で自立した日常生活を送ることができるよう支援する事業です。

「地域包括支援センター」は、高齢者の介護や福祉、医療、そして権利などをを守るため、生活のあらゆる面からサポートする相談機関です。お気軽にご相談ください。

(単位：千円)

歳入		歳出	
後期高齢者医療保険料	568,658	総務費	28,394
繰入金	970,984	広域連合納付金	1,508,818
その他	71,721	その他	58,784
合計	1,611,363	合計	1,595,996

国民健康保険事業特別会計

国民健康保険事業特別会計（事業勘定・診療施設勘定）の決算の状況をお知らせします。

事業勘定

歳入額 48億6,989万円
歳出額 48億6,290万5千円

歳入と歳出の差額 698万5千円 は令和5年度に繰り越しました。

※事業勘定は、医療給付、特定健康診査、人間ドックなどの事業を実施するための予算です。歳出における保険給付費とは、被保険者が医療機関を受診した際の費用のうちの保険者負担金（7～8割部分）です。

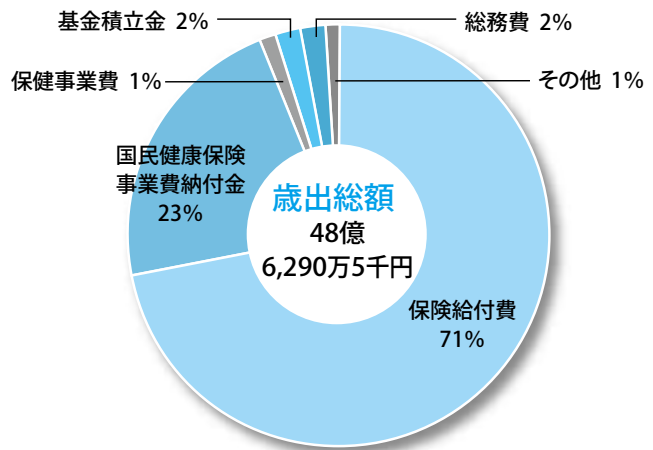
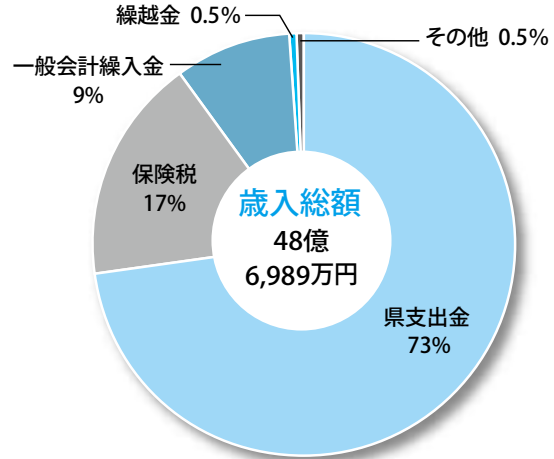
[歳入] (単位:千円)

区分	決算額
県支出金	3,569,705
保険税	817,298
一般会計繰入金	453,339
繰越金	12,458
その他	17,090
合計	4,869,890

[歳出] (単位:千円)

区分	決算額
保険給付費	3,457,660
国民健康保険事業費納付金	1,119,342
保健事業費	67,567
基金積立金	98,663
総務費	85,949
その他	33,724
合計	4,862,905

差引	6,985
----	-------



被保険者数と1人当たり年間医療費

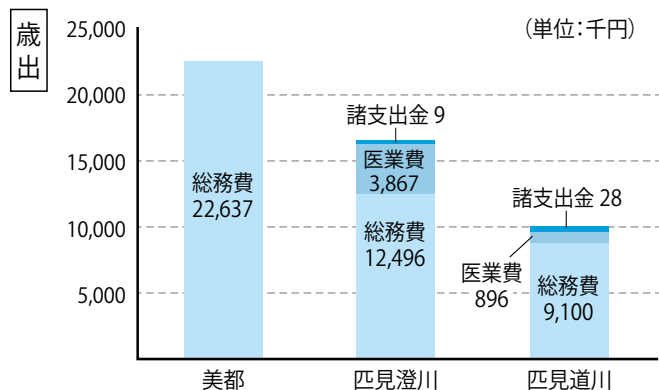
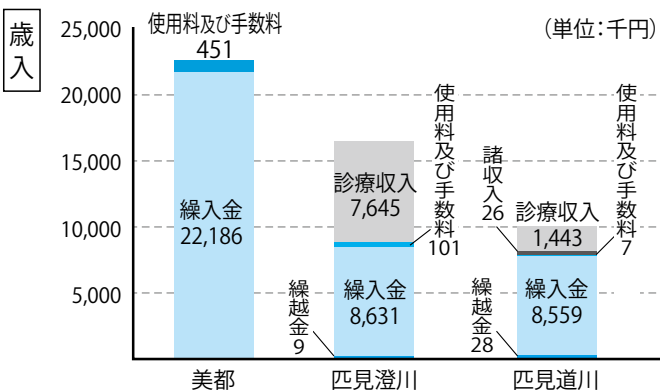
	国保	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)
益田市	被保険者数(人)	9,350	8,874	▲ 5.09
	1人当たり医療費(円)	461,052	448,860	▲ 2.64

	国保	令和3年度	令和4年度	伸び率(%)
県内市町村計	被保険者数(人)	125,170	119,562	▲ 4.48
	1人当たり医療費(円)	483,338	490,264	1.43

※被保険者数は年間平均です。医療費は各年度の前年度3月から当該年度2月までの診療分で島根県国保連合会の速報値です。

診療施設勘定

医療の受診機会に恵まれない地域に国民健康保険診療施設を開設しています。診療施設勘定は、診療施設の運営や整備のための予算です。歳入歳出差引は、美都診療施設 0円、匹見澄川診療施設 1万4千円、匹見道川診療施設 3万9千円となりました。



【問い合わせ先】 市保険課 ☎ 31-0212 ☎ 24-0180

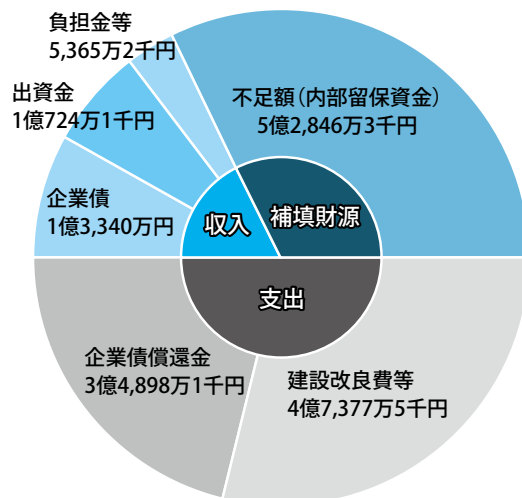
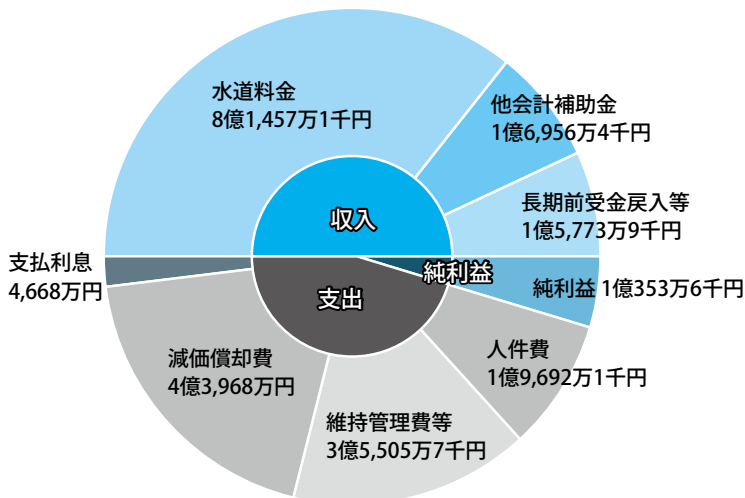
益田市水道事業会計（地方公営企業法適用事業）

収益的収支（税抜）

収入 11億4,187万4千円
 支出 10億3,833万8千円
 純利益 1億 353万6千円

資本的収支（税込）

収入 2億9,429万3千円
 支出 8億2,275万6千円
 差引 ▲5億2,846万3千円



業務量の概要

項目	令和4年度	対前年度比
期末給水人口	42,252人	98.5%
年間配水量(①)	6,565,963m³	98.4%
年間有収水量(②)	4,882,577m³	96.9%
有収率②/①×100	74.40%	1.2ポイント減

- ・収益的収支… 水道事業を運営するために要した経費と財源
- ・資本的収支… 水道施設を造るために要した経費と財源

主な建設改良工事

工事名	金額(税込)
飯浦配水池基礎構造物工事	52,261千円
市道高津線配水管改良工事	42,339千円

【問い合わせ先】市上下水道部業務課 ☎ 31-0421

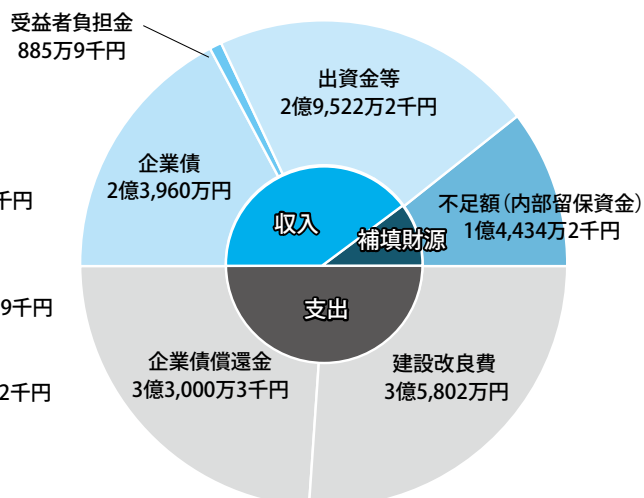
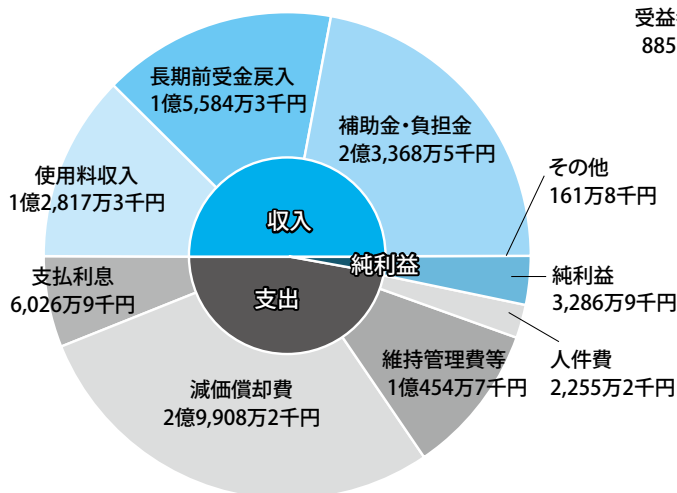
益田市下水道事業会計（地方公営企業法適用事業）

収益的収支（税抜）

収入 5億1,931万9千円
 支出 4億8,645万円
 純利益 3,286万9千円

資本的収支（税込）

収入 5億4,368万1千円
 支出 6億8,802万3千円
 差引 ▲1億4,434万2千円



業務量の概要

項目	令和4年度	対前年度比
期末接続済人口	4,800人	100.8%
下水道普及率	14.64%	0.24ポイント増
年間有収水量	547,428m³	101.6%
1日平均処理水量	1,498m³	101.5%

- ・収益的収支… 下水道事業を運営するために要した経費と財源
- ・資本的収支… 下水道施設を造るために要した経費と財源

主な建設改良工事

工事名	金額(税込)
公共下水道駅南工区汚水幹線工事(その5)	125,645千円
横田安富地区農業集落排水通報装置更新工事	58,974千円

【問い合わせ先】市上下水道部下水道課 ☎ 31-0323